

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)

【公開番号】特開 2000-225050 (P2000-225050A)
 【公開日】平成 12 年 8 月 15 日 (2000.8.15)
 【出願番号】特願 平 11-28630
 【国際特許分類第 7 版】

A 4 7 G 25/12

【F I】

A 4 7 G 25/12 A

A 4 7 G 25/12 G

A 4 7 G 25/12 J

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 12 日 (2003.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

なお、複数の保持体は、各々個別に取付け部に取り付けてもよく、また複数の保持体を、それぞれのフランジ部が同一平面上に広がるようにして一体化して保持ブロックを構成し、この状態において保持体を取付け部に取り付けるようにしてもよい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

傘立て本体 1 0 は、金属製の角パイプなどによって構成された底枠 1 4 および一对の横枠 1 2 からなる。各横枠 1 2 は、上辺部 1 2 a が底枠に対して傾斜状とされており、これらの横枠 1 2 が起立状に互いに対向配置され、各々の上辺部 1 2 a どうしが、たとえば互いに 3 本のフレーム材 1 3 によって繋がられている。各フレーム材 1 3 は、一定間隔隔てた平行状に、かつ上下に位置ずれて配置されており、これらのフレーム材 1 3 によって、上辺部 1 2 a の傾斜に対応した傾斜状の取付け部 1 1 が設定されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

筒状部 2 1 の内面には、筒状部 2 1 の軸方向に延びるようにして、たとえば 4 つのリブ 2 1 a が設けられている。傘挿入孔 2 4 は、半径方向に広がる平面に対して傾斜状に、すなわち筒状部 2 1 を斜めに切断した恰好で形成されている。このため、フランジ部 2 2 は、筒状部 2 1 の半径方向に広がる平面に対して傾斜状に突出形成されている。また、平面視においては、フランシ部 2 2 が全体として矩形状を呈するように形成されている。このような保持体 2 0 は、隣り合う保持体 2 0 のフランジ部 2 2 どうしにおいて一体化されており、保持ブロック 2 全体としても平面視において矩形状とされている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

